

「やる気の法則」

『やる気の法則』これは『 $1 : 1.6 : (1.6)^2$ 』の法則』とも呼ばれています。

この法則を簡単に説明すると強制的に仕事や学習をした時の効率を「1」とした場合、その仕事や学習の意義や目的を理解して行う時には、同じ人でも仕事の効率が「1.6」倍になります。さらに、その仕事を自ら企画・考えて実行した際の効率は「 $(1.6)^2$ 」倍、つまり、2.56倍になるというものです。

「船井総合研究所」より

先週で、定期考査も終わりのやれやれと思っている人も多いと思います。テストの成績はどうだったでしょうか？ **3年生でも良くない人がいる**と聞きます。この成績がこれからの進路に直接つながります。特に3年生は今学期の成績が非常に大切です。1・2年生も赤点があれば進級にもかかわってきます。“**「勉強」ほど公平なものはない。努力が評価されるフェアなチャンスです。**”多くの知識を得、人間的に成長してほしいと思います。期末考査に向けて今から計画的に取り組んで下さい。**授業を大切にし、自学自習、家庭学習がとても大切です。**就職状況は厳しくなっています。

進路に役立ち人間的に大きく成長できる方法がもう一つあります。それが**部活動**です。毎日部活動に励んでいますか？ **毎日真剣に取り組んでいる人が増えてきている**ように思います。放課後教室で話をしたり、早く校門を出ていく姿を見かけると残念に思います。今しかできない部活動を今やって下さい。二十歳までが一番体を鍛えられるといひます。

企業訪問をして話をしていると「部活動を3年間続けて元気で明るい子がいないですか。」と一番に言われます。「勉強もできないよりできる方がいいのですが**企業というものは人付き合いです。幅広い年齢構成の中での仕事ですから、コミュニケーション能力があり、ちょっとしたことでへこたれない強い気持ちと体力、そして、明るく挨拶のできる子が戦力になります。**」と。定期考査も終わり、体を動かすには一番いい季節だと思います。**体・頭を使い心を鍛えましょう。**上の言葉を使うと強制的に部活や勉強をするより**意義や目的を理解し、自ら企画をし、考えて実行すること**が強制的な人の3倍近い力で成長します。先輩・後輩の関係を教えてもらい、また、顧問の先生など**自分の周りにいる誰かが、苦境を打破するヒントをくれるかもしれません。**だからこそ、そういう存在を見つけようという目で自分の周りを見渡し、**一人前になるための協力者を部活動を通じて増やしてほしい。**と願ひます。今しかない若い力を部活動にぶつけ、社会人になるためのパワーを身につけること。部活動を3年間全力でやって**自分の可能性を磨き、城南の名を県下・全国に広め、卒業式に感動・感謝をあじわって欲しい**と思います。